

## 職員による自己評価

## A環境面

職員配置については適切、どちらともいえないとの意見が殆どであった。利用定員とスペースの関係性は車椅子上では問題ないが全員マットに降りると適切なスペースではないのではと感じる職員もいた。

## B児童への支援内容

多職種で計画の立案を行い、振り返り、評価が出来ている。人との繋がりを大切にし、友達や大人と様々な体験や活動を通して楽しめるように支援出来ている。振り返りが送迎によって当日中にできず翌日になってしまう事がある。

## C関係機関との連携

学校とは子ども達の課題解決、情報共有の為にカンファレンスが適宜出来ている。他事業所や在宅サービスの事業所とも随時、情報共有を行っている。

## D保護者への説明責任・信頼関係

連絡帳を活用し、送迎時や面談時にも説明することが出来ている。又、年2回保護者会開催と個別支援計画の振り返りの面談も年2回実施している。

## E非常対応

年に2回地震と火災想定避難訓練を実施している。活動の要素の中に防災を取り入れている。送迎中の緊急時（体調不良、災害、事故）シュミレーションも定期的に行っている。メール活用し災害時の安否確認の訓練を行っている。

## 保護者による評価

## A環境面

活動スペースや職員配置・専門性、施設内設備やバリアフリー化について、9割以上の方に高い評価を頂けた。

## B児童への支援内容

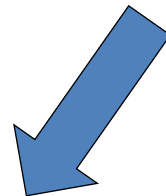
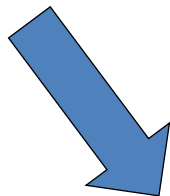
個別支援計画は本人・保護者のニーズや課題を反映した計画作成となっており、活動プログラムが工夫されているとの評価であった。他の放課後児童クラブや児童館等での非障害児との交流についても、概ね実施されているとの評価であった。現在の支援内容に加えて、長期休み等での外出イベントの充実や土曜営業、通常サービス内での入浴支援を希望する声があった。

## C保護者への説明責任・信頼関係

支援内容や子供の状況の情報共有、必要に応じた面談・助言によって、職員との信頼関係を築くことが出来ているとの評価であった。一方で、保護者同士の連携については、どちらともいえないという評価が見受けられた。施設内でのスタッフ対応に対して、よく子供とコミュニケーションが取れているという意見が複数ある一方、スタッフがマスクで表情が見えづらくより目線や声色に注意してほしいといった意見も見受けられた。

## D非常対応

緊急時や防犯、感染症のマニュアルについての保護者共有について、4割がいいえ、どちらともいえないとの意見であった。緊急避難訓練等の実施について、どちらともえない、わからないとの回答が約2割あった。



## 事業所内での分析

### 【共通点】

- ・支援について職員と保護者の間でコミュニケーションを取りながら個別支援計画を基に実施できている。
- ・支援内容や児童の状況の情報共有が定期的、必要に応じた面談等でできている。

### 【相違点】

- ・普段の活動プログラム以外に長期休みの外出や入浴等のサービスの充実を図って欲しいという意見が保護者からあった。
- ・事業所として緊急時対応、防犯対策において避難訓練やマニュアルの作成は行っているが中々、保護者に伝わっていない部分があった。

## 分析・検討してみる…

### 事業所の強み

重心児の活動プログラムにおいては本人の強みも活かしながら立案、実施ができている。  
多機能型拠点内の1つの事業であるため連携しながら柔軟な対応が可能である。  
クリニック併設で医師、看護師の医療的な体制がとれている。

### 事業所の改善点

防災、防犯の情報共有については去年より意識したが不足しているようなので別の方法で検討する。  
利用児童、保護者に満足して頂けるように丁寧にニーズを確認しながらサービスの充実を図る。

## 事業所の改善への取り組み

- ・連絡帳でのやりとりや送迎時、面談時には引き続き情報共有、説明を行っていく。連絡帳アプリの導入の検討。
- ・サービスの拡充についてはまずは利用児童、保護者への確認を再度行う。その中で出来ること、難しいことを精査し出来ることから行っていく。

## ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

内容によっては保護者に伝わっていないこと多くあると今年も感じた。事業所からの発信については改善できるように努めていくと同時に連絡帳アプリの導入を進め、タイムリーに情報が見れる事、過去の情報を見返す事ができるメリットがあるので、そういう面から大きく変えていく必要があると感じた。

日々の児童の支援はもちろんだが今後も安心して利用していただけるように情報共有や情報発信、丁寧な説明は心掛けていきたいと思う。児童にとっても楽しい場所、安心できる自分の居場所と感じてもらえるような事業所を目指していきます。